

舟車輪

平成19年 5月 発行

(財)伏木富山港・海王丸財団

TEL 0766-82-5181

FAX 0766-82-5197

http://www.kaiwomaru.jp

第106号

退任のご挨拶



主任 鷲塚 靖

3月31日をもって伏木富山港・海王丸財団を卒業することになりました。

着任した当初は、変則的な勤務体制に戸惑いもありましたが、イベント時に家族連れの楽しそうな姿を見るとそれも吹き飛びました。

思えば2年前、河原Captから「楽しい財団で

あるよう一緒に頑張りましょう」と声をかけていただいたのを覚えています。

「楽しい財団」その答えを模索し続けてきた2年間だったと思います。

航海訓練所や県の職員の方々と一緒に富山県のランドマークである帆船海王丸、そして海王丸パークに携わる仕事のできたのは自分にとってかけがえのない財産です。

なお、海王丸ボランティアの皆様には、健康に留意され、今後ともご協力をお願いいたします。

2年間お世話になり、ありがとうございました。



技術員 齋藤 暁之

この度2年間の勤務を終え、航海訓練所に帰ることとなりました。この2年間の財団生活を、とても楽しく過ごすことができました。氷見のブリや富山のお米、おいしかったです。

また財団に遊びに来ることがあると思いますが、よろしくお祈りいたします。

最後に、本当は彼女を作るつもりでしたが、作ることができませんでした。いい人がいたら教えて下さい。富山は最高でした。

着任のご挨拶



主事 北野 友之

この度、射水市から派遣を命ぜられ、4月1日付けで伏木富山港・海王丸財団に勤務することとなりました。

着任以来、1ヶ月半、新しい体験の連続で戸惑いと新鮮さが入り交じった気持ちで日々を過ごしています。

先日も海王丸の総帆展帆を間近に見ることが

でき、その雄大さにいたく感動しました。また、それを支えて頂いているボランティアの皆さんには言葉では言い表せぬ感謝の想いでいっぱいです。

この雄大な海王丸を通して海事思想の普及に努めていければと思います。精一杯がんばりますのでよろしくお祈りいたします。



技術員 山本 一徳

桜がつい昨日まで咲いていたかと思うと、もうすっかり初夏の陽気を感じ、季節が歩き始めていることを実感いたします。今年度から伏木富山港・海王丸財団技術員を拝命いたしました、山本一徳と申します。

昨年度までは独立行政法人航海訓練所にて練習

船の乗組員として大成丸という船に乗船していました。その前には、北斗丸、日本丸にも乗船した経験があります。練習船は、ここ伏木富山港にも入港するときがありますので、これらの船もご存じの方も多いと思います。

私の出身地は、ここ富山県と同じ雪国の北海道は札幌市というところです。今までは、真冬は仕事上関東から南の地方にすることが多く、雪がない冬というのは自分にとっては違和感があり、雪を見ることがで

きず少し物足りなさを感じていましたが、富山ではそのようなこともなく、充実した冬を過ごせそうです。

私は、過去に富山を訪れたことが全くなく今回の赴任が初めてになります。しかし、私の家系は富山と大いに関係があるようで、父方の先祖は富山出身らしく、明治になり北前船で北海道に渡ったそうです。富山に住んでいた頃の場所も最近分かったのですが、射水市の太閤山から南に少し行ったところに『山本』という地名が残っており、そこが先祖のいた場所だそうです。ここからもそう遠くないところで両親も私も驚きました。今までは気付きませんでした。少なからず富山とは縁があることに、運命すら感じました。

暦も5月を過ぎ、いよいよ本格的なイベントシーズンになります。まだまだ不慣れなところもありご迷惑をおかけするかも知れませんが、ここで未熟な部分を少しでも成長させていければと思います。みなさまどうぞよろしくお願いいたします。

みなさまにお会いできることを楽しみに海王丸でお待ちしております。

4・5月の行事結果

船体・展示マストヤード塗装工事

4月9日から20日までの間、船体・展示マストヤード塗装工事を行いました。ドラム缶で作ったイカダに足場を組んだものを海面に浮かべ、移動しながら刷毛でペンキを塗りました。

ボランティア宿泊研修（再訓練）

4月14、15日と21、22日にボランティア宿泊研修（再訓練）を行い、41名の方が初心に返っての訓練や懇談会で親睦を深めました。

1日目は、基本動作の確認、ロープの取り扱い、ギア配置の規則性、模型を使用する際のギアの導き方と役割など、盛りだくさんの内容で再訓練を行いました。参加したボランティアには日頃疑問に思っていたことを解消してもらいました。夕食後、第1教室で船長講話を開催しました。テーマは、「船長の職務と権限」「昭和40年代における練習帆船の実習と生活」で、皆さん熱心に耳を傾けていました。

2日目はカッター訓練、真鍮磨き、ボルトロープのサービングなどの活動を行いました。

総帆展帆

今年最初の総帆展帆は好天に恵まれ4月

29日に行いました。今回は、平成2年に海王丸が富山で総帆展帆を始めてから通算150回の記念すべき展帆となりました。展帆作業後に、参加ボランティアが海王丸前に集合し記念撮影をしました。



総帆展帆150回記念写真を参加されたボランティアにお渡しします。海王丸パークへお越しの際、海事課までお申し付け下さい。

天候 晴 参加人数 75名
展帆状態 総帆 ポートタック シャープアップヤーズ

5月6日、大型連休最後の日は雨のため中止となりました。総帆展帆は中止になりましたが、22名のボランティアが集まり甲板ボランティアとして古くなったセイルの解体をホールドで行いました。

セイルの解体

解体したセイルは、カバーや塗装作業の養生シートとして再利用します



商船高専実習

富山商船高等専門学校国際流通学科4年生24名が、「船舶・海洋特論」の授業の一環で海王丸にやって来ました。海王丸では結索実習、登檣訓練、練習帆船に関する講義などを5回にわたって行っています。

国際流通学科は商船学科と異なり大型練習船での乗船実習は行いませんが、海王丸での実習で海や船の基礎を経験し、幅広いニーズに対応できる人材を育成しています。

ボランティア新規養成訓練

4・5月に行われた新規養成訓練で次の方々が仲間に加わりました。どうぞよろしくお祈りいたします。

津本 孝 さん (つもと たかし)

清水 等 さん (しみず ひとし)
出村 正幸 さん (でむら まさゆき)

6・7月の行事予定

ボランティア新規養成訓練

海王丸ボランティアになってみませんか？総帆展帆やセイル作製の他、楽しい活動や交流があります。

平成19年7月28・29日(土・日)

訓練参加には、お申し込みが必要です。
お問い合わせは当財団海事課まで。

総帆展帆

日時：平成19年6月3日(日)
7月16日(月・祝)
午前10時～(受付は9時から)
場所：更衣・交流センター研修室
集合：海王丸第1教室

登橋礼

今年も海の日(7月16日)を記念して、帆船の最高儀礼である登橋礼(とうしょうれい)の実施を予定しています。また、登橋礼訓練を下記日程で行います。多くのボランティアの皆さんに参加をお願いします。

登橋礼訓練
日時 平成19年7月1日(日)
13:00～
集合場所 海王丸第1教室
訓練は雨天決行(屋内で訓練します)
訓練に参加された方のみ登橋礼を行っていただけます。

お知らせ

夜間公開

新湊花火大会が行われる7月29日(日)、海王丸の夜間公開(最上甲板上のみ)を行います。海の貴婦人から夜空に広がる光のアートをご覧ください。

時間 18:00～21:00
乗船受付は20:30まで

イルミネーション

夏休みにあわせ海王丸のイルミネーションを連日点灯します。
日時：平成19年7月20日(金)

～9月2日(日)
日没から21:00まで

イベント案内

ファミリーフェスティバル

海王丸パークで港や海への関心を高めてもらうため、小さな子供とその家族が一緒になって楽しめるイベントを開催します。

平成19年6月2日(土)
3日(日)
・ミニ遊園地、フードコーナー
・フリーマーケット
・総帆展帆(6/3) ・カッター教室(6/2)

パークフェスティバル

海の日(7/16)にちなみ、海や船に親しんでもらうイベント、パークフェスティバルを開催します。

平成19年7月14日(土)～16日(月)
・手作りボートレース ・体験乗船
・総帆展帆(7/16)

カッター・セイリング教室

海に漕ぎ出し、爽やかな風とセイリングを楽しんでみませんか？

日時：平成19年6月2日(土)
7月28日(土)
午前の部 09:00～11:50
午後の部 13:00～15:50
お問い合わせは海事課まで

みなとまち上陸紀行

長い航海を終えた船乗りが、久し振りに陸の空気を吸う上陸。下りたところは殺風景な岸壁でも、道の先にはみなとまちがあります。今回は函館です。津軽海峡の北の玄関・函館へは、函館山を右舷に見ながら入港します。港内には青函連絡船として活躍し、海王丸のように一般公開されている摩周丸や、青森行きフェリーの大きなクレーンを備えた造船所、沢山のランブを取り付けた釣り漁船が、みなとまちを飾っています。駅舎が改装された函館上陸の起点は、近年駅舎が改装された函館駅。駅前から路面電車やバスが出ており、近くへ行くのも遠くへ行くのにも便利です(港内の岸壁から駅前まで遠いことがあります)。入港の時見た函館山には、駅前からの登山バスで行くことができます。添乗員の女性にとっても話の面白いです。日本3大夜景の内に到着します。日本3大夜景の一

一杯す。道があこ話にて
 一まるこがるの山う
 島りがどろけこ館よ
 半あ上のこつ（函た
 館がび中と見・でっ
 函えかのである・人ま
 、応浮そえル・二し
 て見で、見ブか男て
 っは灯しとツと、け
 あ”街差”力るはつ
 け石や交キを実輩見
 だ宝トでスれが後も
 る“イ度”こ恋たに
 れたラ角で。とれ？
 らつのなナするく運
 えば車々力できて幸
 数ら、様タうでえて
 つにま路にるとを登す
 館で赤食続
 洋区、飲が
 に地とやア
 道るく物リ
 坂れ歩い工
 は、ふへ買ト
 はあ方どン
 町緒のな口
 元情岸場フ
 る国海止一
 あ異に波タ
 にぶら西一
 野並さやオ
 裾ちら群ウ
 の建か庫る
 山が町倉め
 館会元ガしす
 函教。ン楽ま
 やすしがき
 待はし森が谷地ど
 立へが青と嘗った
 の岬ち・こ市よか
 らのや州る、しを
 なこ（本めらで郭
 むう頭は眺たが稜
 し歌地間をれか五
 樂が谷昼火疲い、で
 を子、。りにはでク
 景昌点分漁のの泉一
 絶森終5のくす温二
 す。の1り歩流うユも
 なす。南約釣しを通
 りでの歩か少汗く呂
 りのの車徒い。で多
 織め電らははす。泉
 の薦電らははす。泉
 岬お面か夜ま温方露
 の（路）、き頭のた
 待はし森が谷地ど
 でる昨る見で焼

にあるあな、ながいぼうをさしこんで、
 そのぼうをおしながらあるきます。と
 キヤブスタがまわり、ロープをまきと
 ことができま。おおきなちからが
 につかいました



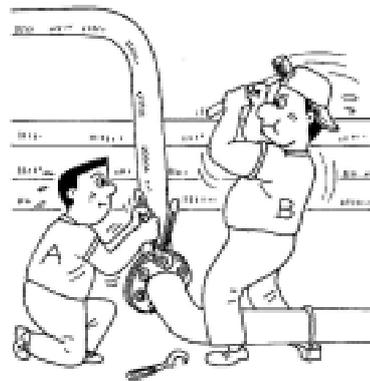
危険予知トレーニングvol.23

前回 105号 vol.22の答え



《状況》ゴム長靴を履きパイプの上を歩いて、修理現場に向かっている。

1. パイプより滑り落ちて転倒する。
2. 船体動揺でバランスを失い、工具を持ったまま手をつき、怪我をする。



左のイラストにはどんな危険がひそんでいるでしょうか？考えてみましょう。

答えは次号で！

（船員災害防止協会刊：商船KYTイラスト集7より抜粋）

甲板パイプ修理のため、ボルト、ナットをゆるめている。



質問コーナー



（質問）これなあに？

射水市立八幡保育園
 ぞう組さん

（答え）これはキャブスタンといます。ロープをまきつけて、う

終わりに

桜が見頃を迎えた頃、海王丸パークにツツバメがやってくる頃、鳴き声はすばやく、何度聞いても、さきには聞き取れず、仲良く飛び交った。良き飛ぶついでに、別船をねぐらにする。海王丸の飛ぶ姿は、まるで王様のように、風を切り、空を舞う。その姿は、まさに芸術の傑作。そして、その姿は、私たちの心を癒す。さ